

● 解答

A 一

- ① 霊長類
 - ② 輪郭
 - ③ 解釈
 - ④ 一瞬
 - ⑤ 我慢
- 二
- ① 態勢
 - ② 体制
 - ③ 破
 - ④ 敗
 - ⑤ 吹
 - ⑥ 噴
- 三例
- ① 適切・適度・快適・最適
 - ② 気象・対象・象徴・象形
 - ③ 突破・突如・衝突・唐突
 - ④ 測量・測定・観測・推測
 - ⑤ 収入・収納・回収・吸収
 - ⑥ 越冬・越権・超越・卓越

四 ①育 ②使

- B**
- (1)例 基本的に早める方向で考える。
 - (2)例 避難者受け入れの態勢を敷く。
 - (3) 神仏の守りや助け
 - (4)例 培った能力を駆使して課題に取り組む。

C

- ① 想像する
 - ② 具象物
 - ③ なぐり描き
 - ④ 輪郭
 - ⑤ 目
 - ⑥ そこにあるもの
 - ⑦ そこにないもの
 - ⑧ 希望
 - ⑨ 今、この世界
 - ⑩ 時間
 - ⑪ 空間
 - ⑫ 絶望
- 1**
- (1) 人間を他の霊長類と区別する最も大きな特徴。
 - (2) c (ココというゴリラの描いた絵)
 - (3) 人間の子どもが三歳を超えるとそこにないものを描く(目を描き入れる)こと。
 - (4) チンパンジーはそこにあるものを見ているが、人間はそこにあるものを見ない点。
 - (5) 今この世界を生活しているから、チンパンジーは絶望しないということ。

診断テスト

- 2** チンパンジーはそこにあるものを見ているのに対して、人間はそこにあるものを見ることができない。
- 3** ア
- 4** ①空間
②短い

診断テスト

- 1** (1) ①最も大きな特徴
②なぞる
③目(そこにあるもの)
④床ずれ
⑤絶望感
⑥想像するちから
⑦希望
- (2)
- ①エ
 - ②ア
 - ③オ
 - ④ウ
 - ⑤イ

二 ア

★解説★

- 1** (5) **脚問** 指示語は多くの場合、前に出てきた内容を指し示す。繰り返す指示語の内容はいずれも前後の文脈を整理するとわかる。
- 2** **脚問** 「これ」は1(3)にあるとおり、「人間の子どもが三歳を超える」とそこにあるものを描くことをさす。このことの「解釈」を筆者がどのように行っているかは、次の段落で明らかになる。筆者が、チンパンジーと人間の違いをどのように考えているのかを整理してみよう。
- 3** **脚問** 「思いあたる」とは、「なるほどと気づく」ことを意味する。レオの事例は、人間だったら絶望せずにはいられない状況にもかかわらず、全くめげる様子がないチンパンジーの姿から、人間の特徴を見いだす根拠となっている。
- 4** **脚問** この段落は前述の筆者の考えを補足・注記する役割を果たしている。厳密に言えばチンパンジーも想像することはあるが、それは限定的だということ述べている。

診断テスト

- 1** (1) **脚問** この文章の構成は、明確な問いと答えと根拠からなる。論理的、説明的文章として、きわめて明解である。具体的な事例が二つ示され、それらが根拠となって、答えを支える構図をとる。
- (2) (1)を参考にして、文章内容がどのように組み立てられているのかを考えよう。
- 二レオの事例が筆者のどのような考えを引き出すものとして示されているのか、その文脈をたどってみよう。少し先まで読むと想像する人間に対して、「今、この世界」(61・9)に生活しているチンパンジーという対比的説明が出てくる。
- イとウは文章中にはないことを述べている。エの「神様のご加護」は病状の回復に対しての表現であるのでこれもまちがいがい。